

SCHOOL DATA

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富 1-20-1
 TEL.047-445-2321 FAX.047-445-2322
 ■児童数 / 634人 ■教職員数 / 39人 ■周辺環境 / 住宅地

平成 22 年
5 月 1 日現在



ビオトープ全景



ビオトープにある田んぼで児童による稲刈り

ビオトープの概要

- 場所 / 学校敷地内
- 面積 / 10.0㎡
- 設置者 / 学校
- 設置した年 / 2000年
- 主な管理者 / 教職員・PTA・飼育委員会

【生息している動物】

メダカ、シオカラトンボ、ギンヤンマ、ハイロゲンゴロウ、サカマキガイ、モンシロチョウ、キチョウ、ナミアゲハ

【生育している植物】

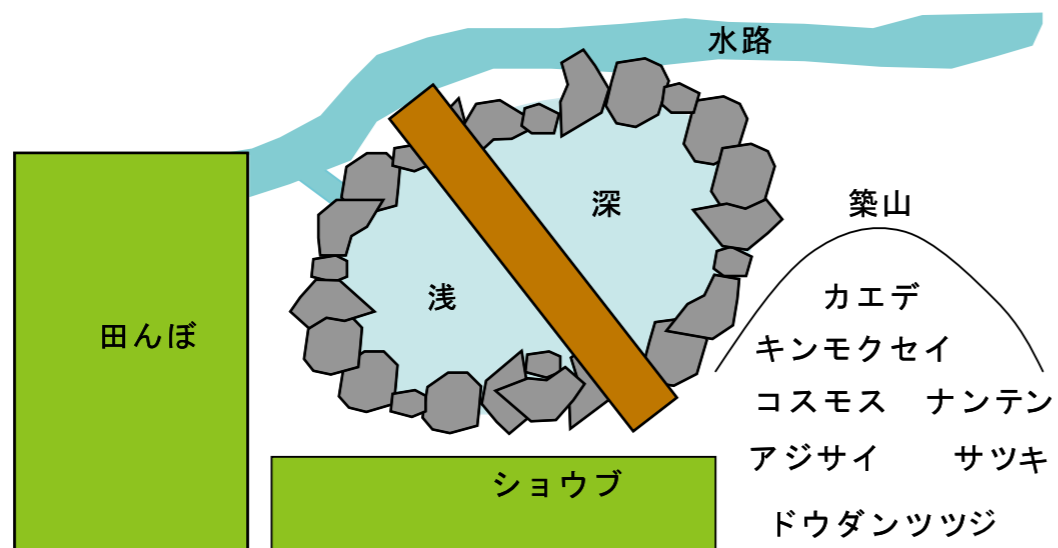
アサザ、スイレン、コウホネ、ショウブ、セリ、ミント、エノコログサ、カナムグラ、イヌタデ

<コンセプト>

本校のビオトープ池は、水田と隣接している。ビオトープは、生物種の多さとその数を高めることを目的とし、水田は虫による食害をさげ生産量の増大を目指している。その相反する環境の違いに気がつく児童が増えることを願っている。今回の改修のねらいは3つある。1つ目は、ビオトープに水生植物を繁茂させて集まる生き物の数と種類を増やす。2つ目は、児童がビオトープ池でいつでも生き物を見たり触れ合ったりする場所にする。3つ目は、生物相互の働きで池の水が澄み、維持・管理作業が楽な構造とする。

【今後生息・生育させたい生物】

埋土種子による発芽（ミソソバ、ジュズダマ、ミソハギ等）、トンボ類、チョウ類、バッタ類



地域の方と一緒に収穫をするようす

地域住民が協力したビオトープの維持管理

ビオトープの活用方法

■児童

- ・ビオトープは、生活科や理科の生きた教材として活用できる。
- ・絵や写真ではなく実物として観察したり触ったりできることは、大きさや動き・手触り等本物でなければ分からないことが学習できる。
- ・生命の大切さも併せて指導し、道徳やその他の教科で生命尊重の気持ちを持たせることができる。
- ・隣接している水田で育てている稲の生長の様子も、同時に観察可能である。

■地域住民

- ・学校近辺には、コンクリートの貯水池はあるが自然の小川や池等の水場がないので、学校のビオトープは、水辺に親しむ憩いの場として大いに活用できる。
- ・ビオトープに生息する小さな生き物や植えてある植物を見て、自然界の営みをかいま見することも可能である。
- ・学校周辺は、畑ばかりで水田がないので、日常食べている米がどのように育っていくのかを、リアルタイムで常時見ることができる。

ビオトープの効果

■児童への効果

- ・休み時間等にビオトープに集まり、水に親しんだり水生生物を探したりできる。
- ・小さな生き物にもかけがえのない命が宿っていることを感じ取り、慈しみ大切にしようとする気持ちを持たせることができる。
- ・児童は、生き物が好きなので休み時間毎にビオトープ池に集まり、水中の生き物や集まってくる虫を楽しみながら探している。

■教職員への効果

- ・生活科や理科の生物教材の学習として活用できる。
- ・何より校地内にあるので校外に出かける必要がなく、観察するのにとても利便性がよいので好評である。

■保護者・地域住民への効果

- ・放課後や休日等に保護者と児童がビオトープを訪れ、池の水生

植物を眺めたり棲んでいる生き物を探したりできる。

■その他、期待される効果

- ・ビオトープにより児童・学校・幅広い年代の地域の方々とのふれあいと連携が強化される。

保護者・地域との連携

■保護者・地域住民

今後、ビオトープ観察会の開催やビオトープの更なる改修工事及び池の水を抜いての清掃作業などを行いPTA活動と連携し、学校と保護者・地域住民が協力して、ビオトープの維持管理を行うようにしたい。

整備・活用・管理等の課題

- ・無人となる土日は、水位の低下など水の管理が難しい面がある。
- ・落ち葉がビオトープに入るのでそれを除去しなければならない。

今後の展望

- ・今年度は、委員会活動の中にビオトープ委員会がなく飼育委員会が様々な仕事をしていたので、来年度は、ビオトープ委員会を新設しビオトープ委員会で維持管理をしていきたい。
- ・植える水生植物の種類や数を増やしていきたい。

整備担当者（教員、児童、保護者等）から

- ・夏場の暑い時期に改修工事をしたので、体力的にきつい作業となった。
- ・植える水生植物をビオトープ先進校にもらいに行った際、ビオトープ関連の様々なグッズなどが大変参考になった。
- ・ビオトープに詳しい方をお招きして改修計画や改修方法を考えていただいたので、大変スムーズに作業が進行した。
- ・今後も多くの方と連携しながらビオトープを活用及び維持管理し、児童の学習に役立てていきたい。